

第63回

衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会
議事要旨（案）

開催日時 2024年6月7日 13:00～14:15

開催場所 衛星放送協会会議室

出席者

委員長	舟田 正之	立教大学 法学部 名誉教授
委員	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学大学院 法務研究科 教授
委員	岡本 光正	(一社)衛星放送協会 専務理事
委員	笹島 一樹	(株)インタラクティブィ代表取締役社長
委員	松谷 浩一	(株)スカパーJSATホールディングス 取締役
委員	奥永 孝仁	スカパーJSAT(株) 執行役員メディア事業部門長補佐

事務局	池田 邦彦	(一社)衛星放送協会 事務局長
	金田 有示	(株)東北新社メディア戦略統括部スターチャンネル兼管理部
	堀 智一	スカパーJSAT(株) メディア事業本部長代行
	酒井 陽一	スカパーJSAT(株) メディア事業部門経営企画部シニアエキスパート

【資料】

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 63-1 第63回議事次第 | 63-5 普及促進委員会 報告 |
| 63-2 第62回ガイドライン委員会議事要旨案 | 63-6 5月27日経営者連絡会について |
| 63-3 第62回ガイドライン委員会議事録案 | |
| 63-4 ガイドラインの運用状況について | |

1. 委員長挨拶

舟田委員長から「第63回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する旨の宣言があった。

2. 前回（第62回）議事録の承認・確定について

事務局より、前回 第62議事要旨(案)（資料63-2）、第62回議事録(案)（資料63-3）について、委員会に諮問され、承認された。

3. 申立の有無

放送代表委員から、前回の本委員会から今日に至るまで、申立は無かったことが報告された。

4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

(1) ガイドライン運用全般について

スカパーJSAT代表委員から、2024年2月～2024年4月におけるガイドライン運用全般について「資料63-4」に沿って説明がなされ、ガイドラインに則り、運営されていることが報告された。

また、スカパーJSATの事業者向け情報開示について、以下の説明があった。

経営者連絡会 実施概要

－2024年2月21日開催－

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(1) プラットフォーム事業者の提供する役務:加入の状況、当社が実施した普及促進業務等の説明

1. 2023年度第3四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移
ARPU推移、加入獲得コストの内訳と各年度推移
- ・スカパー！3サービスの顧客数純増減累計
- ・番組配信の登録者数推移

2. 「衛星放送ワーキンググループ」報告：衛星インフラコストの低廉化/左旋帯域利活用

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明・実施結果の報告

1. 2023年度計画レビューについて

- ・基本プラン：2023年度 下期取り組み、契約動向

- ・優良顧客の番組配信利用について
- ・公式サイト、番組配信アプリ リニューアルレビュー
- ・番組配信 利用者推移と視聴傾向、加入きっかけ
- 2. 2024年度 取組み施策の全体イメージ
- 3. 2024年度の主な施策概要FTTH事業の拡大状況について
 - ・番組配信強化、ポイントプログラム、Myスカパー！NEWS配信開始、自主コンテンツの取組み、プレミアムサービス施策、プラットフォーム編成
- 4. 2024年度 件数計画
- 5. FTTH事業のレビューと今後の施策
 - ・拡大状況：再送信契約推移、多ch契約推移、顧客の契約動向
 - ・多ch拡販施策：ドコモの販売コンテスト、基本プランのアウトバウンドポスティング
 - ・FTTH事業でのパススルー事業 提供ケーブルテレビ事業者の拡大
 - ・ケーブルテレビ事業者向け商品の組成について
- 6. CTVの取組みについて
 - ・ドングル『スカパー！プラス』の概要とモニター施策
 - ・当社が目指す 放送+配信プラットフォーム

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン
 II-2- (3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性：「自らが放送するコンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」の報告

1. 2023年度 第3四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

事業者連絡会 実施概要

ー2月16日、3月29日、4月26日開催（すべてWeb会議開催）ー

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン
 II-1- (2) 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明

1. プラットフォーム編成とプロモーション予定：
 - 開催翌月以降の予定（各月説明）
2. 能登半島地震におけるお客様対応について（2月度）
3. CTV『スカパー！プラス』のドングル先行モニター概要
4. 加入3ヶ月以内の継続率改善を目的としたLINE活用トライアルの実施について
5. スカパー！note コラボ記事企画の展開（以上3月度）
6. スカパー！ポイントプログラム：SP00Xポイントクーポン単品商品注目作紹介の開始について
7. LINE活用トライアル施策実施のスケジュールについて
8. 番組情報の自動配信先の拡大について（以上4月度）

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン
 II-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：実施結果の報告

1. 加入概況報告（各月報告）

- ・新規、再加入、解約、純増の前月件数実績、当月見込み件数、翌月計画件。
- ・2012年からの3サービスにおける顧客件数推移とICカード件数の推移

[放送事業者の開閉局の動向（2024年2月～2024年4月）]

スカパー！：開局 0ch | 閉局 8ch | 事業譲渡 0ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |

チャンネル名称・料金変更 3ch | パック・セット新設・変更 0ch

プレミアム：開局 0ch | 閉局 2ch | 事業譲渡 1ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |

チャンネル名称・料金変更 3ch | パック・セット新設・変更 0ch

[社内委員会の設置による適正性の確保（2024年2月～2024年4月）]

ガイドラインの運用が適正に行われているかをチェックするためのスカパーJSAT

社内委員会は2024年2月21日、4月5日に開催され、その概要が報告された。

(2) 普及促進委員会の開催状況

事務局より、2024年2月から2024年5月までに開催された、親会および施策検討WGについて報告があった。（資料63-5）

5. 5月27日経営者連絡会について

スカパーJSAT代表委員から、5月27日に開催された経営者連絡会の内容説明が行われた。（資料63-6）

経営者連絡会 実施概要

—2024年5月27日開催—

- ・メディア事業部門2023年度レビューと2024年度計画
- ・メディア事業本部・コミュニケーション本部の取り組み
- ・FTTH事業本部の取り組み
- ・CTVへの取り組み

7. 意見交換

■FASTやCTVについて意見が交わされた。

事業者代表委員より、米国で急激に利用が増えているFAST（Free Ad-Supported Streaming TV）について、間もなく日本でも似たようなサービスが開始されるかもしれないが、放送のような形態のリアル配信になるので、これ

に対応していく必要があるかもしれない、との意見が出された。

委員からは、配信に関わることから、コネクテッドTV（CTV）など、AmazonやGoogleにTVが席卷されるのではないかという懸念と、スカパーも同じような仕組みで、配信をやっていこうとしているので、そこについての考えをスカパー側へ求めた。また、同じくFASTとの関連性についての見解を求めた。

これについて、スカパーJASTからは、スカパーCTVの仕組みはAmazon等と同じものであり、画面上の編集権を、現在はAmazonが握っているので、その編集権をスカパーが握って、国産での編集をした画面の状態を作ろうとしているとの説明があった。

またFASTとの関連性については、FASTは広告モデルであり、視聴者が増えないと収入も得られない。FASTに人が集まれば、スカパーサービスも合わせて見るユーザーも増えて、世界観が広がると考えているとの、将来像を説明した。

■プレミアムサービスについて、意見が交わされた。

事業者代表委員から、スカパー！サービスでは収支が赤字である一方、プレミアムサービスでは収支は黒字であるが、スカパーの施策注力がアンバランスであるのではないか、との意見が出された。

スカパーJASTからは、公営競技やアダルトなど、プレミアムサービス固有のコンテンツのプロモーションは、例えば公営競技だと会場販促など、スカパー！サービスでは実施していない獲得施策の取り組みも行っているとの説明があった。

また、STB（セットトップボックス）の先行交換などで、故障起因での解約が抑止できている事実もあるので、この様に可能な施策を探して実施もしていると説明があった。

8.その他

- ・次回以降の開催について

今後の開催日次（9月・12月・3月）については、参加者全員と調整の上 確定させる。

以上